

# 2011年はスギ花粉の飛散量が例年比大幅増加予想！！

花粉症対策でお薬を服用される方はジェネリック医薬品の利用でお薬代を削減してみましょう！！

## 2011年のスギ花粉の飛散量予想

【日本気象協会の発表】

2011年春のスギ及びヒノキ科花粉（北海道はシラカバ）の総飛散数は、九州から東北地方にかけてのほとんどの地域では例年より多いか例年並でしょう。九州南部と東北地方の一部や北海道では、例年よりやや少ない見込みです。花粉の飛散数が少なかった2010年春に比べると、およそ2～10倍になると予想され、近畿地方と東海地方では10倍以上になる所がある見込みです。



2011年春の花粉飛散傾向（例年比）



2011年春の花粉飛散量の2010年比

スギ花粉の大量飛散で花粉症の方は気の重い季節でお薬の服用で経済的にも負担となりますが、花粉症のお薬にもジェネリック医薬品があります。ジェネリック医薬品を使ってお薬代の節約をしてみたいはいかがでしょうか？

## 花粉症とジェネリック医薬品



### 花粉症

#### 花粉症とは

人間の体には、体内に侵入した細菌やウイルスなどを排除する「免疫反応」が備わっています。この免疫が、花粉を外敵と判断して過剰な反応を起こしてしまうのが花粉症です。

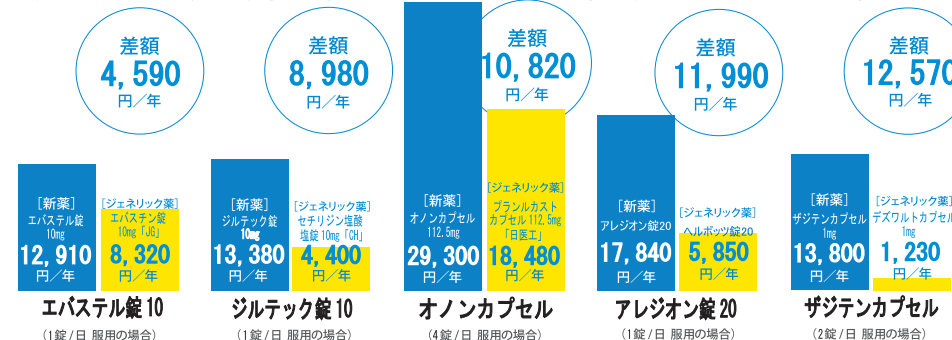
花粉が体内に侵入すると、体内に抗体が作られます。この抗体が一定レベル以上のときに花粉が体に侵入すると、免疫物質（ロイコトリエン、ヒスタミンなど）が分泌され、くしゃみや鼻水などの症状が起こります。



#### 花粉症の治療

花粉症の治療は、免疫物質の働きを抑えることです。治療薬の選択は病型や重症度により異なります。くしゃみ・鼻水型の場合は第2世代抗ヒスタミン薬を、鼻閉型の場合は抗ロイコトリエン薬を中心に、点鼻薬などを組み合わせながら症状を抑えます。花粉の侵入による免疫反応を抑えるため、花粉が飛んでいる期間はずっと服用し、花粉に敏感な状態を抑えます。スギとヒノキにアレルギーをお持ちの方は4カ月程度服薬を続けることになります。

多く使用されている花粉症治療薬の新薬とジェネリック医薬品の自己負担額の比較の一例です（自己負担3割の場合）



●表記している金額は、平成22年4月時点での調剤報酬中の薬剤費の試算であり、調剤技術料は含まれておりません。  
●処方された医薬品が特許期間中であつたり、処方せんに変更不可の指示があつた場合は、ジェネリック医薬品に変更できない場合があります。  
●実際にジェネリック医薬品に変更し調剤する場合は、後発医薬品情報提供料等が発生します。

- ◆ 自分の服用している薬にジェネリック医薬品があるの？
- ◆ どれぐらい薬代が違うの？
- ◆ 近くにジェネリック医薬品対応薬局があるの？

その疑問に答えます。

ジェネリック医薬品検索サイト  
『ジェネリックガイド』

ジェネリックガイド 検索  
<http://www.generic-guide.jp>

